



# 第79期 第2四半期株主報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで



西部電機株式会社

# 株主の皆様へ

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第79期第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成23年12月



取締役社長 木村 稔

## 商品力と販売力の強化で 安定成長を目指します。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、生産の停滞、輸出の減少、個人消費の低迷など厳しい状況下にありましたものの、サプライチェーンの復旧により、生産活動も回復してまいりました。しかしながら、EUの財政危機や米中など海外経済の減速、円高、電力不足など多くの懸念材料を抱え、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中で、当社グループは「商品力の向上」ならびに「販売力の強化」によって、安定成長を実現すべく、全社を挙げて努力してまいりました。その結果、当社グループの連結業績は、受注高は73億円(前年同期比19.2%増)、売上高は63億3千8百万円(前年同期比25.5%増)となりました。また、損益においては、経常利益は1億3千8百万円(前年同期は、経常損失1億1百万円)、四半期純利益は3千6百万円(前年同期は、四半期純損失9千3百万円)となりました。

当社グループといたしましては、「商品力の向上」、「販売力の強化」によって、受注・売上の拡大、更にはコストダウンや経費削減に一層注力し、企業体質の強化と安定成長に邁進いたします所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 通期の見通し

売上高

**15,000**百万円  
前期比20.1%増

経常利益

**740**百万円  
前期比50.3%増

当期純利益

**350**百万円  
前期比55.8%増

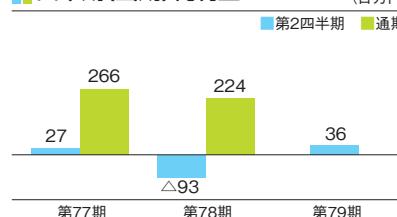
### 売上高 (百万円)



### 経常利益 (百万円)



### 四半期(当期)純利益 (百万円)



# TOPICS

## トピックス

### 搬送機械事業

## 第24回インターフェックスジャパンに出展

搬送機械事業では、新たな商品として、製剤工場等で課題となっていたクリーン環境での薬剤搬送を解決する工程間立体搬送装置「ファーマトランスファ」を大成建設(株)殿と共同開発し、初めて医薬業界展示会に出展いたしました。この商品は、自立型クレーンの立体搬送装置で、クリーン環境で搬送するために駆動、可動部を内部に格納し、その発塵を外部に出さないスクリーン構造を採用した、従来にない画期的な搬送機です。



期間中は、『優れたクリーン性能で、工程間搬送装置がより製造室に近づきました』をキャッチコピーに好評を博し、多くのお客様にお立ち寄りいただきました。

会 期
平成23年6月29日(水)～7月1日(金)
会 場
東京ビッグサイト(東京国際展示場)

### 産業機械事業 産機部門

## 「Semflex®-Aシリーズ」 Valve World Asiaに出展



中国(蘇州)で開催された、バルブとバルブ関連の世界的な企業が参加する業界No.1の展示会Valve World Asiaに新商品「Semflex®-Aシリーズ」を出展いたしました。

参加企業は世界各国から約150社、当社ブースへの来場者は2日間で600名を超え、大変盛況な展示会となりました。

『世界最小』の電動バルブアクチュエータにプラントメーカー・システムエンジニア・アメリカ・バルブメーカーからの注目度は高く、展示会後も中国の電力会社やバルブメーカーから引き合いやプレゼンテーションの要望があり、中国市場拡販に向けての足掛かりができました。

会 期
平成23年9月14日(水)～9月15日(木)
会 場
蘇州国際博覧中心(中国)

### 産業機械事業 精密機械部門

## エモ・ハノーバー2011 (欧州国際工作機械見本市)に出展



ドイツ工作機械工業会(VDW)の主催で、『Machine Tools & More』をテーマに掲げて開催される欧州国際工作機械見本市に、精密ワイヤ放電加工機「M75AG」と「M50AG」の2台を出展いたしました。

来場者の高い評価をいただいて「Seibu」の知名度も上がってきており、展示したマシンは2台とも展示会終了後、展示会場よりお客様の工場へ届けられ無事据付けられました。

### 産業機械事業 産機部門

## 東京ガス(株)殿アクチュエータ更新計画に 「Semflex®-VMシリーズ」が採用されました

東京ガス(株)殿プラント部門は、40年間他社製品オンリーでしたが、製販一体でプレゼンテーションを行った結果、アクチュエータ更新計画に「Semflex®-VMシリーズ」を採用していただくことになりました。また、アクチュエータの単品販売ではなく、設置工事や通信の部分も当社が行うシステムでの受注です。



一次工事が完了した袖ヶ浦工場においては、製品の品質・機能はもとより、設置工事における迅速な対応についても高い評価をいただいております。

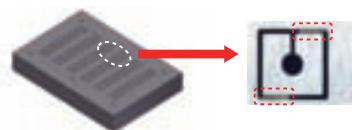
今後もガス関連の市場に拡販を展開していきます。

## NEW 産業機械事業 精密機械部門 新技術を開発しました コアステッチ機能(Core Stitch Function)

従来は、プレート加工を行う工程の中で、切り残しておいた中子(コア)を再び放電加工により、一つ一つ切り離す工程が必要でしたが、今回の新機能「コアステッチ機能」を使用すると、任意の場所で中子を溶着することができるため、切り離し加工を行う必要がなく、荒加工後の中子処理を叩き落とすのみで実現できます。

そのため、切り離し工程にかかる時間を大幅に短縮(97%削減)することができます。

この機能は業界初であり、ワイヤ放電加工の工程を激変させる画期的な商品です。



(新技術)  
真鍮を溶着させながら加工し、中子を落とさずに切り離すことができます。

# 主要な事業別営業の概況

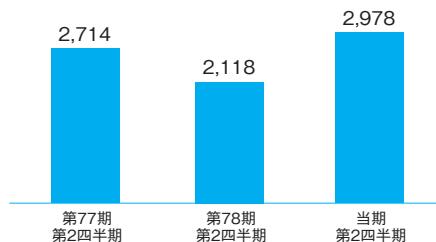
## 搬送機械事業

搬送機械事業では、震災や円高の影響から国内の設備投資計画の見直しなどがありましたものの、既存顧客からのリピート受注、小型自動倉庫の拡販やサービス・メンテナンスにも注力してまいりました。

その結果、大手機械メーカーからの大口物件の成約もあり受注高は34億8千2百万円(前年同期比40.2%増)、売上高は29億7千8百万円(前年同期比40.6%増)となりました。

### 売上高

(百万円)



売上高

**2,978**百万円 前年同期比40.6%増

**47.0%**

FAシステム



食品仕分けシステム(RIOシステム)

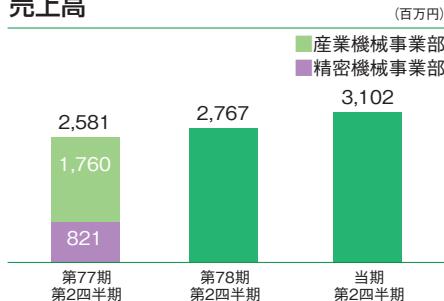


### 主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- ピースピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム

# 産業機械事業

## 売上高



(注)当社は平成22年4月1日付をもちまして、産業機械事業部と精密機械事業部を統合し、「産業機械事業部」とする組織の変更を行っております。

産業機械事業の産機部門では、公共投資抑制の影響を受けるなど厳しい環境の中ではありましたが、民間需要の掘り起こしや既存市場のシェアアップ、ゲート市場への拡販や震災復旧のためのサービス・メンテナンスに注力してまいりました。また、精密機械部門では、円高やIT関連市場の世界的な需要低迷などの影響がありましたものの、既存顧客の更新需要や海外の新規商社の開拓に注力するとともに、半導体や光学、自動車市場などに拡販を図ってまいりました。

その結果、受注高は35億4千6百万円(前年同期比2.0%増)、売上高は31億2百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

48.9%

売上高

3,102百万円

前年同期比12.1%増

## 主要商品

### 産機部門

バルブアクチュエータ  
ゲート駆動装置

### 精密機械部門

超精密・高精度ワイヤ放電加工機  
高精度小形NC旋盤  
高精度自由形状研削加工機

バルブアクチュエータ・プラント採用事例



ハイレンドタイプ SuperMM50A



大型電動ピンラック式ゲート駆動装置採用事例



ハイスピードローダ 連結ライン



# 連結財務諸表(要約)

## 第2四半期連結貸借対照表

単位：百万円  
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第79期第2四半期	第78期
	平成23年9月30日	平成23年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	11,210	11,553
固定資産	11,037	11,428
有形固定資産	8,434	8,552
無形固定資産	19	21
投資その他の資産	2,584	2,854
資産合計	22,247	22,982
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,507	4,940
固定負債	3,735	3,749
負債合計	8,242	8,689
<b>純資産の部</b>		
株主資本	10,779	10,814
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,502	2,502
利益剰余金	5,910	5,944
自己株式	△ 291	△ 291
その他の包括利益累計額	3,225	3,478
純資産合計	14,005	14,292
負債純資産合計	22,247	22,982

## 第2四半期連結損益計算書

単位：百万円  
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第79期第2四半期	第78期第2四半期
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	6,338	5,050
売上原価	4,872	3,911
売上総利益	1,466	1,139
販売費及び一般管理費	1,332	1,268
営業利益又は営業損失(△)	133	△ 128
営業外収益	29	37
営業外費用	24	10
経常利益又は経常損失(△)	138	△ 101
特別利益	—	2
特別損失	28	28
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	109	△ 126
法人税、住民税及び事業税	18	21
法人税等調整額	54	△ 54
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	36	△ 93
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36	△ 93

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円  
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第79期第2四半期	第78期第2四半期
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	763	428
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25	△ 40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 56	△ 57
現金及び現金同等物の増減額	681	330
現金及び現金同等物の期首残高	3,591	3,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,272	3,960

# 会社の概況・株式の状況 (平成23年9月30日現在)

## 会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	398名(連結438名)

## 役員

取締役会長 (代表取締役)	吉住一成
取締役社長 (代表取締役)	木村 馥
専務取締役	宮地 敬四郎
常務取締役	藤岡 敬正
取締役	木谷 泰博
取締役	中里 晋也
取締役	税所 幸一
取締役	溝田 安彦
常勤監査役	平塚 皓
監査役	小西 正純
監査役	鬼頭 正雄

(注) 監査役小西正純、鬼頭正雄の両氏は社外監査役であります。

## 株式の状況

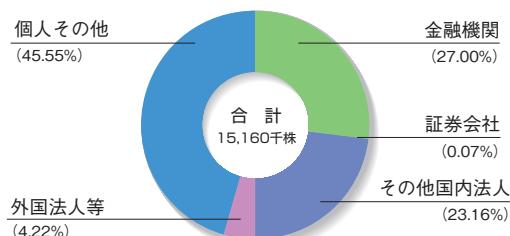
発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,551名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	18.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,153	8.20
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.63
株式会社福岡銀行	633	4.50
みずほ信託銀行株式会社	626	4.45
株式会社西日本シティ銀行	589	4.19
CGML-IPB CUSTOMER COLLATERAL ACCOUNT	521	3.70
西部電機従業員持株会	387	2.75
村上 博	215	1.53
日本生命保険相互会社	152	1.08

- (注) 1. 当社は、自己株式1,109,841株を保有していますが、上記大株主からは除いております。  
2. 持株比率は自己株式(1,109,841株)を控除して計算しております。  
3. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から平成23年5月11日付で提出された大量保有報告書の変更報告書により、平成23年4月28日現在当社が1,577,000株(保有割合10.40%)を保有している旨の報告を受けております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

## 所有者別分布状況



## ■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ ( <a href="http://www.seibudenki.co.jp/">http://www.seibudenki.co.jp/</a> ) に掲載いたします。 なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 および特別口座管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問合せ先 〔郵便物送付先〕 〔電話問合せ先〕	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

### ホームページのご案内

<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

西部電機

検索



表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬渓流の四季をモチーフに『自然随順』を表現しております。  
 当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。



この報告書は再生紙および植物油インクを使用しております